

松本市市民活動

## サポートセンター通信

NO.12

発行元：松本市市民活動サポートセンター

〒390-0874 松本市大手 3-8-13

松本市役所大手事務所 2 階

TEL/FAX：0263-88-2988

E-mail：support-center@support-center.jp

URL：http://www.support-center.jp

～ご招待状～

市民活動活性化フォーラム

“団塊・シニアが地域を変える”へのお誘い



少子高齢化の進展に伴い、地域において団塊・シニア世代の力が注目されています。講演会を通じて今後の生きがいづくりや自己実現の場として注目される地域活動の可能性について考えます。また“情報市場”では、地域活動等の情報提供や体験コーナーも設けます。

「市民活動を始めてみたい」という方、ぜひこの機会に参加のきっかけづくりをされてはいかがでしょうか。お待ちしております！  
なお、ブース展示へ参加を希望される団体はサポートセンターまでお気軽にご連絡ください！

◇問い合わせ・申し込み◇

松本市ボランティアセンター（TEL:25-7311）

市民活動サポートセンター（TEL:88-2988）

◇会場◇

松本市総合社会福祉センター

住所：松本市双葉 4-16 TEL:25-3133

～開催日時～  
**12月15日(土)**  
13:00～16:30

◇開催日程◇

13:10～14:40 基調講演会

テーマ：「志民になろう」 講師：吉永鴻一氏

(お父さんお帰りなさいパーティー推進センター長)

14:50～15:05 歓迎ライブ

15:10～15:30 ステージ発表

15:30～16:30 情報市場

◆NPO 設立相談窓口

◆ボランティア相談窓口

◆ブース展示

様々な団体が活動紹介を行います

◆地域デビュー講座の体験コーナー

男の料理教室、お助け大工(地震対策家具固定、包丁研ぎ等)、昔遊び(竹とんぼ・づくり)、読み聞かせ、お酒の楽しみ方講座、マジックなどを予定しています！

◇参加費◇ 体験コーナーの材料費のみ

しみん  
サロン～アクティブシニア～  
～続・子どもの居場所～

人と人をつなぐ場として走り出した『しみんサロン』！  
開始前 30 分の交流会は、名刺交換や情報交換の場としても好評です。討論は「その吹く風は良き方に趣きて吹くなり」で毎回掲げられたテーマに対して、参加者からの具体的な意見を切り口に自由に展開しています。

まず、9月28日に開催した第2回しみんサロン「アクティブシニア」では、市民活動で活躍するシニアの皆さんから、経験と知恵を生かした活動の紹介があり、シニアパワーの可能性、特に女性のパワーに圧倒されました。さらなる活性化のためには、男性の参加拡大が鍵を握るとの指摘があり、今回12月に開催する「市民活動活性化フォーラム」の参考にさせていただきました。

また、連続2回開催の「子どもの居場所」では、家庭や地域における子どもたちのコミュニケーション不足が話題となっています。



アクティブシニアで  
活発な意見交換をす  
るみなさん

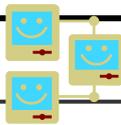
10月29日開催の第2回目はコミュニケーションのひとつともいえる“叱り方”や“躰”について議論となりました。次回は参加者からの提案により、第1回で疑問に挙がった“ネットにおけるコミュニケーション”を熟考するため「子どもと携帯電話」をテーマに信濃むつみ高校に会場を移し、1月末開催する予定です。

●●お知らせ●●

「しみんサロン～松本フランド～」の開催  
日程は次号に掲載します。

このコーナーでは当センターに団体登録のある、様々な活動団体をご紹介します！！  
 今回は、「しみんサロン ～アクティブシニア～」の開催に関連して“高齢者福祉団体”を特集しました。  
 お話をうかがったのは、「シニアネットクラブ」と「新老人の会 信州支部」の両団体です。

## 松本シニアネットクラブ



“助け合いながら学び、交流を楽しみながら実践する”との趣旨のもと、市が高齢者 IT 支援の一環としてコーディネートを行ない、2003 年“松本シニアネットクラブ”は誕生した。初心者向けのワード、インターネットなどの無料講習、上級者向けの有料講習などを中心に活動を展開。会員約 180 名は地区ごとに 8 グループに別れ、それぞれが独自色を出しながら、わきあいあいと学んでいる。

しかし、会長の井口庸生さんの「パソコンはあくまでも“道具”」という言葉の通り、それを使えるようになることだけが会の目的ではない。パソコンを通じ「良い出会い」を見つけ、そこから“良い交流”がある”ことを何よりも大切にし、旅行や納涼会など、会員同士の親睦を深める行事も積極的に催されている。県外とのシニアネットクラブとも交流が盛んで、「現在では、札幌のローカルラジオ局のラジオ番組に、札幌、沖縄、東京のシニアネット

と共にインターネットを通じて放送に参加しています」とのこと。また、信州大学のゼミ発表会に会から写真作品を展示するなど、大学との交流も意欲的に行なわれている。

IT を通じた交流の輪は、距離や世代の垣根を飛び越え、外へ外へと広がりを見せているようだ。「みんなと一緒に学び合うなら、楽しくなくちゃ、楽しまなくちゃ」と、井口さんは生き活きと笑った。



講習会で学ぶ会員のみなさん

◇問合せ：松本シニアネットクラブ  
 TEL：48-7000  
 H P：http://www.hotnet-m.jp/

## 新老人の会 信州支部



“新老人の会”は全国に支部を設け、各々が地域に根ざした活動を展開している。信州支部の始まりは信州支部事務局長の橋本京子さんと会長の日野原重明先生との出会いだった。「75 歳からは人のために自分の“命”を使う。そこからが本当の人生」との話に感銘を受け、信州支部世話人代表の横内裕一郎さんを引き合わせ、設立にいたった。2003 年のことだ。

新老人の会の使命の一つは、「平和への願いを次世代に託すこと」。その一環として、県内の学校に出向き、“いのちについて”の出前授業を行なっている。そこでは、戦争体験を通じ平和の尊さを訴えるほか、



聴診器で木の“いのちの音”を聞く子ども達

聴診器で“いのちの音”である心音を聴くことを行なう。そこから「全てのものには“いのち”があること、人間は一人で生きているわけではないことを知って欲しい」と語る。授業中の子ども達の姿勢は真剣そのもの。話を聴き、涙を流す子も多いという。

そのほか、会より派生した「NPO 法人いのちと平和の森」事業は、森を育み、その木々に託した想いが後世に受け継がれていくことを願ったものだ。事業のモニュメントであるカリオンは、「大切な小さな“いのち”に聴いて欲しい」と、安曇野市の県立子ども病院に贈呈された。

会のもう一つの使命は「後に続く世代のモデルになること」。活動を続ける中で「みなさんの喜ぶ顔を見るのが何よりのやりがい」と口を揃える横内さんと橋本さんの言葉に、それが体現されていると感じた。

◇問合せ：新老人の会 信州支部  
 TEL：36-3958

# 松本市ボランティアセンターよりご案内

## 傾聴ボランティア講座(初級) 受講者募集

あなたが心をこめて話を聴くこと(=傾聴)で元気が出て、前向きになれる方がいらっしゃいます。4回の講座で、「傾聴」の基礎を学びます。傾聴ボランティアに興味のある方はどうぞご参加ください。

	開催日	講座内容	講師	場所
1	1/9 (水) 13時半～15時半	人の発達と言葉の関係 「語ること」と「聴くこと」実習	松本 文男氏 (NPO 法人長野県カウンセラー協会理事長)	松本市総合社会福祉センター 4階大会議室
2	1/16 (水) 13時半～15時半	聴くための実習	傾聴体得講座講師	南部公民館 (なんなんひろば) 3階大会議室
3	1/23 (水) 13時半～15時半	聴ける人になる条件・実習	松本 文男氏	松本市総合社会福祉センター 4階大会議室
4	1/30 (水) 13時半～15時半	老人の心と体・聴くための実習	傾聴体得講座講師	松本市総合社会福祉センター 4階大会議室

- ・ 参加費 1,000円 (4回で)
- ・ 定員 50名 (申込多数の場合、初めての方を優先させて頂きますのでご了承ください)
- ・ 受講資格 4回とも受講でき、講座受講後、傾聴ボランティアとして活動可能な方。
- ・ 申込方法 ボランティアセンターに電話でお申込ください。
- ・ 申込締切 12月10日(月)
- ・ 連絡先 **松本市社会福祉協議会 ボランティアセンター TEL 25-7311**

## “まめ” 知識⑩ ～基礎から学んで賢く活用～



Q. “ミッション” って、何のことだい・・・?

A. “ミッション”とは、「社会的使命」のこと。

その団体の“存在意義、事業の目的”を表し、いわば“NPOの命”とも言える部分です。

ミッションには、その団体にとって、「どんな問題を解決するために、誰のために、なにをするのか」が定義されており、そのNPOの設立動機と活動理念、問題解決の道筋が示されています。

NPOは、いわばミッションを実現するために設立される組織です。営利企業が、「利益を生み出すこと」を目的としているのに対し、NPOは「ミッションを達成すること」を目的としています。

設立・活動の目的

市民活動団体

ミッションを達成すること



営利企業

利益を生み出すこと

“利益の追求ではない明確な問題意識、使命感を持った人々が、それを解決したり、達成したりするために、個人の限界を克服するため組織を作る”、それがNPOなのです。

当センターでは第一面でご紹介した通り、経験豊富な団塊世代の方をはじめ、これから市民活動への参加を始めてみたいという方のために、参加のきっかけ作りとなるイベントを予定しています。

これまでの経験や知識・技能を活かし、自らがミッションを掲げ動き出すことで、あなたが考えるまちづくりに取り組んでみてはいかがでしょうか。



## 「冬の安曇野の水辺散策研究会」

一緒に冬の水辺を覗いてみませんか！  
新しい発見があるかもしれませんよ。

- ◇日時：12月1日(土) 9時半集合 15時半解散予定
- ◇集合場所：大王ワサビ農場駐車場(旧・穂高町地籍)
- ◇会費：200円(せせらぎ施設使用料、資料代共)
- ◇コース：ワサビ畑見学→穂高川→万水川(欠の川)→  
安曇野市自然体験交流センター・せせらぎ  
(昼食、勉強会)→御宝田見学→解散
- ◇持ち物：各自昼食と飲み物(せせらぎ内にて昼食)
- ◇その他：小雨、小雪決行(天候により足元が悪い事あり)
- ◇備考：勉強会は明科水郷地帯の主な生物を1時間程。
- ◇申し込み：NPO法人 長野県水辺環境保全研究会  
TEL：026-238-6680 FAX：026-238-6686  
E-mail:nagano-mizube@etude.ocn.ne.jp



## スコーレ母親講座

「子供の心が見えますか？」  
～親の見方、子供の気持ち～

- ◇日時：11月29日(木)10時～11時半
- ◇講師：(社)スコーレ家庭教育振興協会講師  
鈴木 正子
- ◇場所：あがたの森文化会館(講堂)
- ◇備考：保育100円(保険料他)要予約
- ◇問合せ：社団法人スコーレ家庭教育振興協会  
松本地区実行委員会  
<http://www.schole.org/>  
太田 35-2440  
椿 33-1876  
小木曾 36-1203

## サポセン写真館

～サポートセンター、ある日のヒトコマ～



9月11日～10月9日まで、サポートセンターで「ファシリテーター養成講座」が開催されました。約30名の参加をいただき、好評のうちに全5回を終了しました。

受講者の方に、講座の感想をお聞きしました！

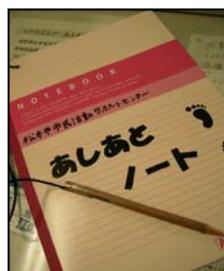
### ◇ 横山 俊彦さん(今井地区子ども育成会) (写真 前方右端)

ファシリテーター養成講座全5回に参加して、参加や協働における対話の目的は、学びあいを通じた相互理解を深め、自治を行なうことにあり、それを「容易にする」ことがファシリテーターの役割であると学んだ。私は今井地区で、小中高生が地域で活躍する場を作りながら一緒に活動している。子どもとの活動の中では、子どもの考えや気づきを引き出し、相互理解とコミュニケーションを深め、子どもが意思決定し、子どもの中から生み出されたものを育てる、更に大切な時間を割いて参加してくれた子どもが「来てよかった。やってよかった」と思えるような場を作る、それが子どもとの「ファシリテーター」であると痛感した良き講座でした。

## サポートセンターからのお知らせ

### ◇ 「あしあとノート」出来ました ◇

当センターをご利用の際、ひとこと書き残していただける「あしあとノート」ができました。センターを利用された「あしあと」を残していただき、団体間の交流や情報交換に使っていただければと思います。会議室に設置していますので、どうぞ気軽にお書き込みください。



### ◇ 編集後記 ◇

「しみんサロン」や「ファシリテーター養成講座」を通じ、サポートセンターのことを新たに知っていただく方が増えてきたと感じます。「こんな活動をしている団体はありますか？」とお問い合わせを受けることも増えました。今後、当センターがより多くの皆様にとってさらに身近で、気軽に利用しやすいものになるよう努力してまいります。